

人材バンク“魅学”プログラム例記入書

登録者名（団体名） 富 田 賢

プログラム名	やさしく学ぶ終活セミナー		
プログラムのねらい	人生 100 年時代を迎えコロナ禍にも見舞われる今、暮らしやライフプランにも影響がある。終活専門家がやさしく、しっかりと「終活」について丁寧に講義する。		
講座名・テーマ 学習分野等	学 習 内 容 等 (具 体 的 に)	時間数 (分・時間)	備 考 (備品等)
終活の第一歩	終活の由来・意義に始まり、財産編、医療・介護編、葬儀編・・・と実際例を交えて各論を展開していく。	各回とも 90 分又は 2 時間	各回とも ホワイトボード、マーカー、マイク
しっかり書こうエンディングノート	エンディングノートと遺言の違い、その有効性。 おからだ編・おかね編と大別して記載すべき内容を説明し、実際に受講生にエンディングノートを執筆してもらうワーキングまで進む。		
キッチンと整理、相続制度	相続手続きの流れ、相続人の範囲と順位、相続の証人と放棄、相続財産の範囲、法定相続分と遺留分、遺産分割協議など分かりやすく説明していく。		
遺言は愛する人へのラブレター！	前回の相続制度編を踏まえて、遺言制度を勉強する。 何故遺言を書くべきかに始まり、公正証書遺言と自筆証書遺言の違い、法務局での新保管制度など。 受講生に実際に自筆証書遺言を執筆してもらうワーキングを盛り込む。		
	※以上は 4 回連続講座が望ましいですが、どれか単発		
	や 2～3 回の選択制で大丈夫です。		
	あるいはエンディングノートと遺言編のミックスなど		
	も可。		

